

甲第 223 号証



関電大飯原発内の破砕帯、16日に評価会合

2013.1.10 09:58

関西電力大飯原発（福井県おおい町）敷地内の亀裂（破砕帯）に活断層の可能性が指摘されている問題で、原子力規制委員会は9日、専門家調査団による評価会合を16日午後を開くと発表した。平成24年末に行った2度目の現地調査の内容について議論を始めるが、活断層かどうか結論が出るには時間がかかる見通し。

昨年12月28、29日の調査では、メンバー5人のうち4人が活断層の可能性は残るとしたが、残る1人は関電の説明と同様に、地滑りの可能性が高いとの見方を示していた。4人の中にも地滑りの可能性を認める専門家があり、全員の認識が一致するのは難しい状況だった。

© 2013 The Sankei Shimbun & Sankei Digital

© 2013 Microsoft |  Microsoft